

2024 年度 岩国めぐみ幼稚園 学校評価

1. 園の教育目標

共に生きていくために必要なことが形成されていく最も大事な時期の幼児期。子どもも大人も共に社会の一員として豊かな成長が得られるように願い、次の3項目を中心に保育しています。

- ①キリスト教保育
- ②のびのび保育
- ③自由・総合保育

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育方針、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、保育内容、施設の改善に取り組む。
- ・研修等を通じ、保育教諭の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育要領、教育課程、子どもの実態を基に指導計画を作成する	・幼稚園教育要領、キリスト教保育誌を用いて、学年ごとに年間、月間週ごとに保育案を作成し保育に反映させている。また、日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、週案の作成に反映させ、園長や副園長と話し合い加筆、訂正し、ICT化に伴いPC入力する。
保育教諭の資質、教育の向上のために研修等を充実させる。	・研修会は岩国私立幼稚園協会主催の研修会には全て参加することが出来た。当園の保育教諭が岩国幼稚園協会の研修委員に1年間担当することになり、研修の計画や準備も担当した。また、処遇改善Ⅱに関係するオンライン研修を対象者が受講した。オンライン研修が増え、良い点もあるが、「講師の先生からお聞きする研修会に参加したい」と言う研修報告が今年も多かった。しかし、オンラインの研修が自分の好きな時間に受けられることが出来、良かったという声もあった。 ・園内での研修を2か月に1回行った。危機管理、衛生、支援について、日々の保育を振り返り話し合いを重ねた。保育教諭が同じ場で話し合い、共有できて良かった。 ・職員会議に加え、各行事や日々の反省や気づきを保育後に話し合い、保育教諭1人1人の資質の向上につなげている。
外部講師による研修	・月1回、広島よりダンスの講師を招いてリズム遊びを行う。 3歳児以上を対象に、クラス毎にリズム遊びを通してステップや身体の動きを学んだ。年長組は4月よりダンスに取り組み10月の運動会で披露した。子どもたちは音楽をかけると体を躍らせてダンスを楽しむ姿が多く見られた。年長児は、2月の発表会で改めて保護者に披露し、10月よりもレベルUP出来、保護者にも喜ばれた。次年度も継続する予定である。

外部講師による研修	<ul style="list-style-type: none"> ・音遊び「ジェンベで遊ぼう」も 5 年目。ジェンベ(アフリカの太鼓)を使ってのリズム打ち、アフリカの言葉で挨拶、アフリカの遊びや音楽など、子どもたちや教師にも好評で、2 カ月に 1 回行う。 講師は通常 2 人で来てくださっているが、仕事の関係でヨーコさん 1 人の時もあった。しかし、みんなで楽しめるようにジェンベをたくさん用意していただき 10 人ずつで思いっきり楽しんで叩くことが出来た。次年度も継続して行う予定。
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の預かり保育を実施し、保護者の急な用事にも対応する。 7:30－8:30 の早朝保育も利用があり、保護者にも好評であった。 ・今年もひよこハウスへの入園問い合わせが多くあったが、定員に近い人数だったため、お断りすることが多かった。 ・今年は子育て支援事業未就園児登園日「ひよこ会」が、月 1 回のペースで行うことが出来た。6 月、2 月に子育て支援コンサートも開催。
子どもたちへの安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで、年間の健康と安全の計画を立てる。火災はもちろん地震、水害、台風、感染症、不審者等の避難訓練を行った。火災の訓練の際には、岩国地区消防組合中央消防署の署員の方に来園していただき、避難、消火訓練の指導を受けた。子どもたちは、緊急放送の聞き方や避難の仕方も回数を重ねるごとに上手になっている。 緊急でない場合も、放送前のチャイムを鳴らすと遊びを中断し放送を静かに聞くことが出来た。これは毎月の訓練の成果だと思う。 ・防犯への取り組み、災害に備えたマニュアルの見直しをするとともに保護者との連携をどのような形でとるか、検討する。非常食の備蓄も少しずつ増やしており、有効期限を表示し保管している。低年齢児が食べることが出来る物や非常食の種類を業者に相談中。 ・岩国市交通安全対策室による学期ごとの交通教室は、今まで年長児のみだったが、今年は 3 歳以上児を対象とする会となり、人数の関係で、①年長組②年中組と年少組で 1 日 2 回、年 3 回行った。 ・JR 西日本岩国運転室の方々による年 1 回の踏切事故防止教室は、今年も JR より連絡をいただき、開催することが出来た。実際に踏切緊急停止ボタンを使って年長組と年中組の子どもたちが体験をした。 ・新型コロナウイルス感染症が 5 月よりインフルエンザと同様の扱いとなった関係で、いろんな行事や扱いが変更となり、行事の在り方や行い方を検討し、修正を行った。おもちゃや保育室、トイレなどは継続して消毒を行っている。 ・今年は暑さが長期にわたり続き、6 月から 9 月には外遊びができない日が続く、子どもたちが室内でも発散できる遊びを工夫しながら保育を行った。毎日、山口県と天気予報の暑さ指数を確認しながら外遊びができるかできないかを判断した。

<p>家庭との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ face book の活用により、ホームページよりも少し軟らかい形で、子どもたちの日々の様子や給食献立を伝えることが出来るように日々更新した。保育教諭が交代で、自分のクラスや全体の子どもたちのその日の様子を掲載し、たくさんの方に見ていただくことが出来た。 ・ 月 1 回、クラスだよりを写真付きで発行した。それぞれクラス担任が工夫し、保護者に伝えたいことも記載し 1 ヶ月の様子を伝えた。 ・ 緊急連絡を行うために「JMOBILE」のメールサービスを導入している。山口県からの緊急情報や警察からの情報なども保護者へ情報提供を行った。 ・ 保育室の広さや年齢の低さから園での様子を直接見ていただくことが難しい場合は、Zoom を利用して子どもたちの様子を見ていただいた。その際には、「JMOBILE」を利用し一斉メールで保護者にお伝えし、祖父母の方にも見ていただくことが出来た。 ・ ICT 化で統一するため、写真ネット販売「ルクミー」から「えんフォト」に変更した。保護者にも好評なため次年度も継続して行い、写真撮影出張サービスも再び利用する。 ・ 年間を通して食育だよりを作成し、全家庭に毎月配布した。郷土料理や行事食、子どもたちの健康と食習慣、旬の食材等をお伝えした。これからも食育、健康、季節や日本の行事に関して、いろいろな情報を発信していきたい。
<p>環境整備の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園園舎 1F 部分は省エネ、長寿命の LED に変更していたが、2F すみれ組保育室は、蛍光灯のままだった。蛍光灯が切れてしまうことが多く、他の保育室と同じ様に LED に取り換えた。ひよこハウスの天井照明 LED が頻繁に切れ、LED 器具の交換を度々行った。 ・ 年中ゆり組保育室(礼拝堂)の空調設備の故障で、しばらくの間暖房が使えない日が続いた。業者より、大きなストーブを貸していただき寒さをしのいだ。 ・ ゆり組保育室に設置してある音響設備の故障が目立ち、園庭のスピーカーから音が出ず、緊急の放送も使えない事から音響設備を一新した。放送設備が変わったことから、一斉放送のチャイムの音も変わり、当初子どもたちに戸惑いはあったが、何度か保育でチャイムの音を聞くうちに避難訓練の際にも注意して聞けるようになった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果、及び今後取り組むべき課題

- ・新型コロナウイルス感染症が五類になったことから、行事や保育の見直しを行った1年だった。保育参観では、クラス毎に保護者に確認保育室に入らせていただき、子どもたちの様子を見ていただいた。保護者も参観後の感想に、子どもたちの様子を直接見る事が出来て良かった。との意見が多かった。
年長組は、今年もデイキャンプを行った。10月の運動会は、「帝人会館」をお借りして、3歳以上児でクラス毎に行い、観覧人数制限せず、保護者の方に来ていただいた。ひよこハウスの子どもたちは、幼稚園園庭にて運動会を行った。11月には、3歳以上児の園外保育で岩国運動公園に行き、落ち葉やどんぐり拾いに行くことが出来た。12月のクリスマス礼拝は、0歳児から4歳児までは園児のみの礼拝とし、年長すみれ組は、保護者2名に限定してクリスマスページェントを行った。保育室の関係で参加者人数を限定して行ったが、ページェントの様子をZoomでも配信した。直接園に来ることが出来ないご家族にも見ていただくことが出来、保護者からも喜ばれた。
- ・恒例の園コンサートは、6月に福岡県から打楽器トリオ「マスケ」の3名の方に来ていただき、園コンサートと子育て支援コンサートを行った。また2月には、さわむらしげはるさんのコンサートも行った。次年度も、2つのグループの方にはコンサートの依頼をしている。
- ・給食では、保育教諭が同じ保育室内で子どもたちと一緒に食べることにした。休憩の関係で担任が別部屋で食べることもあるが、子どもたちは一緒に食事をするを楽しんでいる。卒園近くには、年長すみれ組の子どもたちがもう一度食いたい給食をリクエストし、3月は、リクエスト給食とした。
- ・教職員は、各クラスの実態の把握、そこから保育案の作成、実施、反省と一連の流れの中で保育を行うことが出来るように心がけた。その中で園児一人ひとりに必要な援助を研修や園内の協議で分かち合ったことを踏まえ、実施するように努めている。ICT化に伴い導入して3年経ち、全ての立案、保育日誌、子どもの育ちの記録、指導要録などはパソコン入力で行なう事にも慣れてきた。登降園システムにより、園児の登園と降園はすべてカード操作管理を行っているが、まだ打刻忘れもあり、打刻の担当を決め、声を掛け合い、打刻忘れを防ぐようにしたい。またIP無線機を使って、10時以降に全園児の出欠確認を行っている。未満児、3歳以上児での連絡ツールとしてもとても役立っている。
- ・研修面では、小規模で保育園部分もあることから、決して多い保育教諭の人数ではない中、保育教諭の資質向上も鑑みて、外部研修が行われる際は特に積極的に参加するようにした。ネット配信の研修会では積極的に処遇改善の研修を受講するようお願いをした。今年も西中国教区幼児施設研修会は開催されなかった。
- ・教職員の労働時間、有休利用の管理を行った。通常勤務の教職員では、勤務時間内での1時間の休憩、時短勤務の教員には45分の休憩を取得するようにお願いした。保育中でも教員同士で相談し合い少しでも休憩が取れるように協力していただいた。また、有休が取りやすくなるよう1か月前から日程、勤務調整を行うことにした。

5. 学校関係者評価

学校関係者評価委員は上記1～4の自己評価を受け、それぞれの評価は適切であると判断した。
また、今後も、感染症対策を十分に行い、質の高い保育を目指してほしいとの意見が出た。

	男の子	女の子	計
卒園児	9	12	21

卒園後の入学先状況(人)

東小学校	麻里布小学校	岩国小学校	灘小学校	岩国総合支援学校	合計
16	2	1	1	1	21

2024 年度 園児在園状況 3/22 現在

	1 号利用(幼稚園)			2 号利用(保育園)			3 号利用(保育園未満児)			
組名	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	合 計
すずらん							1	2	3	3
たんぽぽ							3	5	8	8
う め							4	2	6	6
も も	1	2	3	2	5	7				10
ゆ り	1	2	3	6	4	10				13
すみれ	3	3	6	6	9	15				21
計	5	7	12	14	18	32	8	9	17	61

通園状況(人)

岩国市	61
-----	----

2025 年度 園児在園状況予定 4/1 現在

	1 号利用(幼稚園)			2 号利用(保育園)			3 号利用(保育園未満児)			
組名	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	合計
すずらん							1	0	1	1
たんぽぽ							5	1	6	6
う め							3	5	8	8
も も	1	5	6	6	2	8				14
ゆ り	1	2	3	2	6	8				11
すみれ	1	2	3	7	4	11				14
計	3	9	12	15	12	27	9	6	15	54

通園状況(人)

岩国市	53
和木	1

新入園児 0 歳児 1 名、1 歳児 4 名、3 歳児 幼 6 名、保 2 名、4 歳児 幼 1 名、5 歳児 保 1 名
幼稚園利用児 7 名、保育園利用児 8 名 計 15 名